

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		国際教養学科		
科目名称	文章表現の基礎Ⅰ					授業形態		演習		
科目コード	590127	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験担当教員			Active・L	○
担当教員名	田中 利砂子							ICT活用	○	
授業概要	文章表現力は、大学においてはもちろん、社会に出てからも重要視される。そこで、文章表現の基礎Ⅰでは、身近な素材を比較・検討しながら、大学生および社会人に求められる日本語表現技術の習得を目指す。さらに、社会人になるためには、「社会人基礎力」（「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」）の習得も不可欠である。よって、授業内外における活動を通じ、主体性・深く考える力・チームで協力する姿勢・プレゼンテーション力を養成する。									
関連する科目	文章表現の基礎Ⅱ									
授業の方法と進め方	・事前課題による予習に基づいて授業を進める。 ・毎回の授業の一部にグループワークを取り入れる。 ・グループワークで話し合いをし、その内容について発表する。 ・必要に応じて、課題提出やフィードバック等にUniversal Passportのクラスプロフィールを使用する。									
第1回	1課 イントロダクション 現在の自分の文章表現力と、これから身につける必要のある文章表現力を認識する。									
第2回	2課 表現の基礎（1）－表現と言葉づかい－ 表記と言葉づかいの基本を知り、印象のよい文章を書く姿勢を身につける。									
第3回	3課 情報を整理して示す－メモやメニュー－ メモや飲食店のメニューを題材に、たくさんの情報を整理し、見やすく示す方法を学ぶ。									
第4回	4課 情報を確実に伝える－注意書き－ 注意書きを題材に、重要な情報を確実に伝えるための効果的な方法を学ぶ。									
第5回	5課 情報を正確に伝える－連絡・案内のメールなど－ メール作成などを通して、情報を正確に伝えるために必要な力を養う。									
第6回	ステージ1 まとめ 2課～5課での学習を振り返る。									
第7回	6課 表現の基礎（2）－読みやすい文を書く－ 文が読みにくくなってしまう理由を知り、読みやすい文を書く姿勢を身につける。									
第8回	7課 相手に合わせて表現する－敬語－ 敬語の基本的な仕組みを知り、使い方を学ぶ。									
第9回	8課前半 配慮して伝える－行動を促す文章①－：依頼のメール 依頼のメールを題材に、読んだ人がスムーズに行動できる文章の書き方を学び、必要な時に適切な配慮をする姿勢を身につける。									
第10回	8課後半 配慮して伝える－行動を促す文章②－：手順の説明 手順の説明を題材に、読んだ人がスムーズに行動できる文章の書き方を学び、必要な時に適切な配慮をする姿勢を身につける。									
第11回	9課 丁寧に伝える－手紙の書き方－ 手紙の基本的なルールや書式を学ぶ。									
第12回	10課 表現の基礎（3）－わかりやすい文章を書く－ わかりにくい文章の問題点を知り、わかりやすい文章で伝えたいことをアピールする方法を学ぶ。									
第13回	11課 アカデミックな文章を書く レポートや論文のようなアカデミックな文章を書く際の決まりを知り、客観的な文章を書く方法を学ぶ。									
第14回	12課 企画をアピールする 企画をアピールする広告を通じて、一貫性のある内容と表現で人の心に訴えかける方法を学ぶ。									
第15回	13課 自分を表現する－自己PR基礎編－ 相手の知りたいことをふまえ、自分の人柄や能力を効果的にアピールするための基礎的な考え方や技術について学ぶ。									
授業の達成目標	① 客観的な文章が書けるようになる。【汎用的技能】 ② 人の意見を聞く姿勢や自分の考えを人に説明する能力が身につく。【態度・志向性】 ③ 論理的に思考することができる。【汎用的技能】									

学修成果との関連	2.自分の言葉で表現できる能力を有する。
授業時間外学習【予習】	使用教材の該当課を事前に読んで予習しておくこと。事前課題がある場合は、確実に遂行すること。(2時間程度)
授業時間外学【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理しておくこと。事後課題がある場合は、確実に遂行すること。(2時間程度)
課題に対するフィードバック	課題のフィードバックは、授業時に適宜行う。必要に応じてUniversal Passportのクラスプロファイルも使用する。
評価方法・基準	・積極的な授業態度：10点 ・課題：20点 ・ポートフォリオ：30点 ・最終課題：40点
テキスト	野田春美ほか（2016）『グループワークで日本語表現力アップ』ひつじ書房
参考書	野田尚史（2005）『<もっと知りたい！日本語> なぜ伝わらない、その日本語』岩波書店 石黒圭（2012）『この1冊できちんと書ける！論文・レポートの基本』日本実業出版社
備考	特になし。